戦　評　用　紙

平成２５年度県民総合体育大会
埼玉県高等学校バスケットボール新人大会

平成２６年１月１８日

会　　場　上尾運動公園体育館

Ｂコート第　２　試合

対　　戦	埼玉栄　高校		昌平　高校
	５１	１３ — ９	７１
		２０ — ２４	
		１２ — ２４	

第１Ｐ　決勝リーグ第２戦、両チームハーフコートマンツーマンディフェンスで始まる。両チーム共に堅いディフェンスに阻まれ、ことごとくシュートが落ちる。昌平は＃６のポストプレイ、ドライブ、＃４の３ｐで得点を重ねる。栄は得意の早い展開に持っていこうとするが、ボールを持つと躊躇し、思い切り打つことができない。昌平のビッグセンター＃１５のところから攻めるがシュートが決まらない。ボールが手につかないロースコアの展開が続き、１４－６昌平リードで終了。

第２Ｐ　重苦しい状態は続き、お互いシュートを落とし合う。昌平＃１５が３ファウルでベンチに下がると、栄の＃６＃７がゴール下でフリーとなり、リバウンドでようやく得点を返す。昌平は＃６のドライブ、代わって入った＃１４のゴール下などで加点し、栄は＃４が長距離砲で繋ぐ展開。気温が低いせいか、キャッチミスやシュートが短いことが多く見られ、両チーム共にリズムに乗れずに２３－１９昌平リードで前半終了。

第３Ｐ　栄＃４バスケットカウントで１点差とし、＃６の連続得点、＃８の３ｐで一気に逆転し７点差とする。昌平も＃４＃６がゴール下に合わし、すぐに追いつく。昌平＃７の３ｐで再び逆転。栄は前半抑えられていた＃５がゴール下の１対１で連続得点するなどで応戦するが、昌平＃４の速攻、＃７の連続３ｐとブザービートで突き放し、４７－３９とリードを広げて終了。

第４Ｐ　開始早々昌平＃７の２連続３ｐで一気に１３点差。栄も＃４の連続得点で返すが、昌平のドライブからの合わせにかき回される。栄は昌平＃７に対しフェイスガードでボールを持たせないようにするが、隙を突いてドライブやこの試合６本の３ｐを沈める。昌平はディフェンスも良くなり、連続してスティールし、速攻やバスカンなどで２０点差とする。最後はベンチメンバーと交代しながら時間が過ぎ、７１－５１で昌平が勝利。新人関東大会出場を決めた。

（記録者：　草加西高校 伊澤　暁　）